

#ユースサポート

16,17,18

第2号



2020年12月10日
特定非営利活動法人
ハイティーンズ サポート ちば
発行責任者 吉永 馨
[http:// hs-chiba.net/](http://hs-chiba.net/)

HSちば 高校生への食支援事業 開始！

「お米配布会」 県立高校3校で実施しました

- 10月12日(月) 県立東葛飾高校(定時制)
- 10月14日(水) 県立千葉工業高校(全日制・定時制)
- 10月19日(木) 県立生浜高校(全日制・三部制定時制)



今年6月、ハイティーンズサポートちばがNPO法人として設立されましたが、新型コロナウイルス感染症が拡大する状況下で、スムーズに活動することが難しい状況でした。しかし、経済的な影響が徐々に広がり、子どもの貧困状況がより一層深刻さを増すなか、今こそ子どもたちへの食支援が必要と考え、具体的な行動を始めることにしました。8月1日(土)開かれた「スタートミーティング」のなかで、高校生への食支援の方法としてコメの配布はどうかという声が上がリ、実施に向けた検討に入りました。

こうして10月、県立高校3校において、米と海苔の配布活動を行うことができました。新米は、フードバンクちばを通じて千葉銀行の農事法人「フレッシュファームちば」のコシヒカリをご提供いただき、また千葉海苔問屋協同組合からも海苔を無償提供いただきました。ご支援に厚くお礼申し上げます。予想以上に反響が大きく、継続して食の支援を行っていく必要があることを改めて感じました。

次ページより、米配布の準備と千葉工業高校における配布の様子を報告します。

活動報告1

□8月7日、千葉県の担当課との話し合い

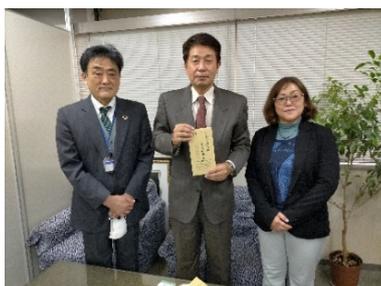
千葉県健康福祉部健康福祉指導課、千葉県教育庁児童生徒課の方々とお会いし、意見交換を行いました。そのなかで、NPO法人ハイティーンズサポートちば設立についてご報告するとともに、今後学校、地域、福祉行政等と連携しながら、若者支援事業を取り組んでいくこととお話しました。



活動報告2

12月10日、「2020年度 千葉県学校生活協同組合 社会貢献活動支援事業」に、当法人の高校生食支援事業(「お米配布会」)が選定されました！

この度、千葉県学生協の社会貢献活動として、NPO法人ハイティーンズサポートちばがこの秋行った高校生への食支援事業を評価していただき、5万円の支援金をいただきました。ありがとうございます。今後とも「お米配布会」をはじめとした高校生食支援事業に大切に使用させていただきます。



(小川彰千葉県学生協専務理事より社会貢献活動授支援助金を授受。)

10月9日(金) 米配布の準備作業

○午後1時 NPOの理事と会員がフードバンクちは事務所に集合し、300キロの新米を車3台に運び込み、3グループに分かれて精米所に向かいました。新米は千葉銀行の農業法人が市原で作っているコシヒカリ。



○午後3時過ぎ 千葉工業高校の同窓会館に集まり、お米の袋詰め作業に取りかかりました。東葛方面から県立高校OB・OGの先生たちも駆けつけてくれました。

作業にあたり、消毒はじめ衛生面も万全の体制です。1袋30キロの米袋から、生徒たちが持ち帰りやすいように、1キロずつの袋詰めに分けます。これが結構重労働で手足がパンパンに張り大変でした。でも、生徒たちが美味しいお米を頬べる姿を思い浮かべながら、ひたすら黙々と手を動かしました。

○終わったのが17時半過ぎ 辺りは真っ暗になっていましたが、夜間定時制に登校してきた生徒たちがみんな礼儀正しく挨拶してくれました。

コロナ禍で経済状況が厳しくなっている家庭が増えています。船橋の海苔卸組合からご寄付のあった海苔も一緒に配布します。新米を食べて、子どもたちの笑顔が増えることを願います。



10月14日(水) 千葉工業高校で新米の無償配布会



○午後3時半過ぎ 全日制の生徒たちが予想を超える人数で来てくれ、あっという間に用意していたお米がなくなり、大ピンチ。定時制の生徒たちが登校してきた4時過ぎには全く手持ちがなくなり、急きょ追浜高校まで追加分を取りに行くという慌ただしさでした。結果として、全日制は51人、定時制は20人の子どもたちに新米届けることができました。

友だちと賑やかに会話しながらお米を大事そうにかばんに詰め込む姿、一人遠慮がちにお米を受け取る姿、満面の笑顔であいさつして帰っていく姿、どの子どもからも若さ溢れるエネルギーが伝わってきました。無限の可能性を感じ、手伝ったスタッフたちは、一人ひとりの子どもたちに言葉をかけました。

配布会は5時前に終了。心地よい疲労感で家路に着きました。(会員A.I)



12月19日(土) シンポジウムのご案内

NPO ハイティースサポートちばシンポジウム
高校生サポートの現場から

横浜総合高校で行われている「ようこそカフェ」。毎週水曜日、オープンしている「交流相談カフェ」です。お茶、お菓子、軽食を無料で提供し、支援団体のスタッフが中心となって、ボランティアとともに運営しています。運営団体「よこはまユース」の尾崎万里奈さんから、立ち上げにまつる経緯や交流相談の意義についてお話を伺います。

12/19(土)
13:30~16:30

入場無料

千葉市生涯学習センターB1F 小ホールにて
 (千葉市中央区弁天 3-7-7)

◆基調講演
 「ようこそカフェ!~横浜総合高校交流相談カフェの実践~」
 講師 尾崎 万里奈さん(公益財団法人「よこはまユース」)

◆実践報告
 ・定時制高校(千葉工業高校他2校)お米無料配布活動
 ・生涯高校 居場所カフェの試み

ハイティースサポートちばでは LINE 無料相談を行っています。↓




お問い合わせ:NPO ハイティースサポートちば 090-3525-2055 (吉永)

ようこそカフェは 毎週水曜日(長期休暇期間除く) フリースペースにて開催中です!

水曜日にオープンしている、横総生を対象とした校内居場所カフェです。学校の中にあるけれど、学校でも家でもバイト先でもない、皆さんがほっと一息つける場所です。1人でも、グループでも大歓迎♪大学生やカウンセラーのスタッフがあなたを待っています。

(横浜総合高校HPより)



NPOスタッフによる相談コーナーのご案内



「生活が大変」「高校が続けられない」「仕事が見つからない」…
 …などなど困りごとのある人、心当たりがある方は、当会の LINE 公式アカウントにご連絡ください。NPO スタッフがお話をうかがいます。

リレー Essay

本当に配りたいもの

理事 三尾 敬次

11月の終わりの日。ホームルームの最後に小さなサプライズが用意されていた。一人ひとりに配られた小さな紙袋。思わず「重い!」と歓声上がる。今年はお菓子で勘弁してね、と連絡はしていたが、その質感に素直に驚いたようだ。楽しみにしていた行事がどれも中止となり、恒例の文化祭での食事会(特製のお弁当!)も今年は断念。せめて、できるだけお腹にたまるものをと、担当する職員たちの心のこもった贈り物だった。大事そうに紙包みを抱えて帰って行く生徒たち…。

夜学ぶ生徒にとって本当に大切なものは何か。
 あらためて考えさせられた。



○「#ユースサポートちば」第2号をお届けします。高校生へのお米配布活動もスタートし、「HSちば」の活動を知っていただく機会も増えてきました。個別の相談活動も始まります。こういう時だからこそ、必要な人に届く活動をつくっていきたいと思います。

○「HSちば」のホームページができました。 [http:// hs-chiba.net/](http://hs-chiba.net/) です。どうぞご覧ください。 (編集;三尾敬次)

☆あなたもぜひ会員になって応援してください! ☆別紙「会員募集案内」をご覧ください。